



MLIT Maritime Bureau Annual Report 2015

海事レポート

2015

未来を拓く、海が拓く。

国土交通省海事局

海事レポート 2015



未来を拓く、海が拓く。

国土交通省
海事局

はじめに

海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う「海の日」が制定され、今年は20回目を迎えます。このような節目の年に「海事レポート」を皆様にお届けできることを大変喜ばしく思うと同時に、今年をぜひとも海への関心を一層高めるための年にしたいと決意を新たにしているところです。

我が国では今、人口減少、少子高齢化、国際競争の激化など社会経済情勢が大きく変化する中で、こうした変化を克服し、日本経済を本格的な成長軌道に乗せるとともに、地域の活性化につなげていくことが求められています。海事分野においては、パナマ運河拡張や北米におけるシェールガス開発の進展、海洋資源開発市場の成長、昨年過去最高の1,341万人に上った訪日外国人旅行者数のさらなる飛躍的拡大など、成長をもたらす変化も見込まれており、これを確実に『稼ぐ力』につなげることが海事産業の浮沈の鍵を握っていると言っても過言ではないと考えます。

『未来を拓く、海が拓く』—この副題は、日本の経済や国民の暮らしを支える海事産業が、引き続きその役割を果たしつつ、自らが成長産業となって経済再生・地方創生に貢献することを念頭に名付けました。海事産業が先頭に立って、我が国の未来を切り拓いていく、そうした気概を持って今後の海事行政をすすめて行きたいと思っております。

最後になりますが、本書は海事行政を分かりやすく表現し、幅広い方々にお読み頂ける内容とするよう心がけました。本書が読者の皆様にとって、「海」や「船」に対して関心を持って頂くきっかけとなれば幸いです。

国土交通省海事局長 森重俊也



【表紙の写真】
練習帆船「海王丸」

画像提供：(公財)日本海事広報協会



【裏表紙の写真】
福岡造船株式会社
長崎工場での
進水式の様子

海事レポート2015目次

海事局最前線

- ① 海洋立国日本を考える
20回目の「海の日」を迎えて **004**
- ② 海洋立国を支える
人材の確保・育成 **012**
- ③ 海洋開発市場の獲得 **020**
- ④ 観光立国の推進 **024**

第II部 海事の現状とその課題

第I部 海事行政の重要課題

第1章 これからの海事行政の方向	第7章 海洋開発の推進
1 基本政策部会における審議 034	1 海洋資源開発をめぐる現状 072
2 とりまとめの概要 034	2 海洋資源開発関連技術の開発支援 073
第2章 安定的な国際海上輸送の確保	3 海洋資源開発プロジェクト獲得に向けた官民の取組 074
1 海上安全・保安の確保への取組 038	4 次世代海洋資源調査技術 076
2 トン数標準税制をはじめとした我が国外航海運に関する支援措置 042	5 海洋再生可能エネルギーの利用促進 077
3 輸送ルートの新たな展開への対応 046	第8章 安全・安心の確保や東日本大震災からの復興に向けて
第3章 内航海運・内航フェリーの活性化	1 海難等の動向 078
1 環境特性を生かしたモーダルシフトの推進 050	2 総合的な海上安全確保のための取組 081
2 船舶管理会社を活用したグループ化の促進 053	3 旅客及び船舶の津波避難態勢の改善 085
第4章 使いやすい地域公共交通の実現	4 大規模災害時の船舶の有効活用 088
1 離島航路の確保・維持・改善と島民の利便性向上への取組 054	5 津波救命艇の普及・開発 089
2 活性化法に基づく地域公共交通の再編 057	6 被災造船所の本格復興への取組 090
3 海陸連結型の交通システムの構築 058	第9章 環境に優しい海上交通の実現
第5章 造船業の「稼ぐ力」強化	1 船舶からのCO ₂ 排出量削減・抑制対策 094
1 造船市況の変化 060	2 船舶からのNOx削減対策等の推進 099
2 我が国造船業の競争力強化 061	3 船舶からのSOx排出削減規制 100
第6章 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて	4 代替燃料の普及促進に向けた取組 101
1 水のまち東京における舟運活性化や外国人及び障がい者の旅客船利用者の利便性向上 068	5 バラスト水の適切な管理による海洋生態系保全の推進 105
2 燃料電池船 070	第10章 海に対する国民の理解と関心の醸成
	1 海に対する国民の理解増進の必要性 108
	2 海に対する国民の理解増進に向けた取組 108
	第11章 海に関する国際ルール作りや国際プレゼンス向上への貢献
	1 国際機関への対応 114
	2 日本企業の海外展開支援 116
	3 海事当局間の意見交換 117

第1章 海上輸送分野

1 外航海運	120
2 クルーズ	150
3 国内旅客輸送	152
4 内航海運	163
5 港運	182

第2章 船舶産業分野

1 船舶産業市場の動向	190
2 船舶産業の発展のための取組	200

第3章 船員分野

1 船員の現状と分析	208
2 船員の確保・育成	210
3 労働環境の整備	214
4 船員分野における国際協力	220

第4章 海上安全・保安の確保と環境保全

1 海上安全の確保対策	222
2 船舶・港湾の保安	233
3 油濁問題への取組	234
4 シップリサイクル	237
5 ポートステートコントロール	240

第5章 小型船舶の利用活性化

1 小型船舶の利用振興に向けた総合対策	242
---------------------	------------

第6章 モーターボート競走

1 モーターボート競走とは	248
2 モーターボート競走の仕組み	248
3 モーターボート競走事業の発展に向けた取組	251